

分野：②

夏の生き物探しと森を豊かにしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立宮前小学校 5年（61人）

所要時間



1時間30分

場所 学校 → 徒歩 → 北中・水野の森

実施時期

令和3年6月22日

概要

夏の生きもの探しと森を豊かにしよう

プログラムの
ねらい

県のふるさとの緑の景観地に指定されている「北中・水野の森」で初夏の生きものの様子を調べ、スミシヤランなどが咲いてくれるように森の手入れをする。ハチの対処の仕方とヤマウルシの見分けかたを覚えてもらう。

プログラムの内容

1 活動に内容と注意事項（10分）

全員に蚊取り線香をつけてもらい、ハチに出会った時の態度とヤマウルシを説明

2 徒歩で北中・水野の森へ（10分）

歩きながら森の歴史と夏の生き物の様子を説明

3 ササを刈り取って森を豊かにする（50分）

かぶれるヤマウルシの見分け方と、アズマネザサが多くなると野草の種類と数が減ることを説明し、ササをハサミで刈りとり、積むとコオロギの棲みかとなることを説明

5 道具の確認と感想（10分）

6 徒歩で学校に戻る（10分）



受講者の反応

ヤマウルシを始めて見て、時計の針のように枝が広がっている不思議な植物だと思った。

森の中にキノコがたくさん出ていたので楽しかった。

ササを刈っていると、下からスミシヤが見つかった。

ササの間にハチが巣を作り始めていたが、説明を聞いていたのでハチを脅かさないで無事だった。

大きな森に入り、いい空気をたくさん吸うことができ気持ち良かった。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

